

2022年8月31日

株式会社高島屋

## サステナビリティ・リンク・ローン契約を締結

株式会社高島屋（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：村田 善郎、以下 当社）は、株式会社三菱UFJ銀行（本店：東京都千代田区、取締役頭取執行役員：半沢 淳一）とローン・マーケット・アソシエーション（※1）等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるローン契約（以下、本契約）を、本日締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することをめざします。

本契約では、下記SPTを設定し、2026年2月に終了する事業年度における達成状況に応じて、優遇金利が適用されるインセンティブが付与されています。さらに、SPTが未達成の場合、当社が脱炭素に向けた取り組みや人権保護活動など、環境・社会課題解決を目的とする組織に対して寄付を行い、その活動を支援するという条項が含まれています。貸し手による動機付けのみならず、仮にSPTが未達成となった場合においても、借り手による寄付という形で、双方が環境・社会に貢献するという点で特徴ある設計になっています。

### 【SPTの概要】

領域	重点課題	KPI	数値目標
環境	廃棄プラスチック削減	廃棄プラスチックリサイクル率	99.0%
		廃棄総量削減（2019年比）	▲26.3%
社会	ダイバーシティ推進	女性管理職比率	35.4%
	働き方改革推進	有給休暇取得率	80.0%

### 【本ローンの概要】

契約締結日	2022年8月31日
期間	7年間
借入額	120億円
資金用途	運転資金
貸付人	株式会社三菱UFJ銀行

当社は、事業活動を通じ、SDGsの達成に強く貢献・寄与できる5つのテーマ（※2）から、当社がめざす将来社会を見据え、環境・社会領域において10項目の重点課題を設定しております。本契約において設定したSPTはいずれも重点10項目に該当するものであり、SPTの達成は当社のESG経営を推進する上で重要な役割を担うものと考えております。

2021年12月には、再生可能エネルギー由来の電力100%で運用するオフィスビル「日本橋三丁目スクエア」の開発を資金使途とする「高島屋グループグリーンボンド」を発行いたしました。本契約をはじめ、今後も環境・社会課題の解決に貢献できる資金調達方法を検討するなど、ESG経営と事業活動を両立する取り組みを進めてまいります。

【高島屋グループ ESG レポート】

[https://www.takashimaya.co.jp/corp/csr/esg\\_report.html](https://www.takashimaya.co.jp/corp/csr/esg_report.html)

本契約では、株式会社格付投資情報センターより、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定したSPTの合理性について第三者意見を取得しています。

【格付投資情報センター セカンドオピニオン】

[https://www.r-i.co.jp/news\\_release\\_suf/2022/08/news\\_release\\_suf\\_20220831\\_jpn\\_02.pdf](https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2022/08/news_release_suf_20220831_jpn_02.pdf)

※1：欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に65か国以上約800機関が加盟。

※2：「地球環境への配慮」「まちづくり」「アクセスフリー・ストレスフリーな商品・施設」「持続可能な商品・サービスの提供」「働きがいの創出」

以上